

大熊町教育施設整備事業基本設計・実施設計業務委託公募型プロポーザル質問回答書

【その他】

| No. | 資料名・頁・項番号 | 質問事項 | 回答 |
|-----|---------------------------------|---|---|
| 41 | | 開校後の運営体制について、図書館はどのように運営される予定でしょうか。基本計画では、区域外の図書館との連携や地域住民への開放等、学校図書館の域を超える計画となっているため、特定の技能を持つ司書等駐在や、運営の委託など、現時点での運営方針を教えてください。 | ①学校図書館については、あくまでも学校の図書室としての位置づけであり、子どもたちの学習の場としての読書・学習・情報センターとしての活用が中心となります。地域住民の利用も想定していますが、他町村の図書館との連携は現時点では考えていません。ただし、県立図書館の巡回図書の利用は想定しています。 ②運営については、子どもたちが活動している時間帯、教職員の勤務時間内において、学校司書を中心とした教職員での運営を考えていますので、数名の職員がいるものとして提案ください。今後、町雇用の司書配置も検討し、教職員の勤務時間外や休日の利用についても検討していきます。 |
| 42 | | 開校後の運営体制について、どのような先生方がこちらで教鞭をとるのでしょうか？基本計画では、イェナプランの実践等の先進的な教育の実践が予定されているため、特別な知識・経験をもつ先生が必要になってくるかと思えます。県外からの招聘、先生方の研修等、現時点での方針を教えてください。 | ①教職員については、県費負担の教職員と町任用職員での運営を想定しています。 ②イェナプラン教育の考え方を活かした個別最適化の学びの具現に向け、令和2年度から県外の先進校とのオンライン研修を行うとともに、今後コロナ禍の状況をみながら、計画的に教職員の短期研修を行う予定です。 ③公立学校の特性（給与負担の面）から、教職員の県外からの招聘は考えておりませんが、町任用職員については、広く県内外からの公募を検討していきます。 |
| 43 | | 開校後の運営体制について、先生方の任期（異動間隔）は何年くらいでしょうか？ | ①県費負担教職員の異動については、同一校6年の勤務が原則となります。 ②町任用職員については、1年ごとの更新となっております、期限はありません。 |
| 44 | | この施設以外に、図書館の新築予定はございますか？ | 現時点での計画はありません。 |
| 45 | 基本構想・基本計画報告書・34頁・復興拠点内の他施設と計画敷地 | 大川原地区復興拠点の計画に関しまして、本ページに記載の計画図よりも新しいものがありましたらご提示ください。また、新庁舎、商業・交流施設、福祉施設、公営住宅等の他施設の配置の分かる資料及び大川原地区復興拠点全体のCADデータなどがありましたら、ご提供ください。 | 記載の計画図が最新のもので、大川原地区復興拠点全体のCADデータはありません。全体の状況が分かるPDFファイルを別添（追加資料2）のとおり提示します。 |
| 46 | 実施要領・10頁・プレゼンテーション及びヒアリング | プレゼンテーションに関して、 ・開催予定の部屋の大きさ ・スクリーンの大きさ（縦横寸法） をご教示ください。 | 部屋のサイズ114㎡、スクリーンサイズ(画面部分)：縦1661mm×横2657mmを予定しております。 |
| 47 | 大熊町第二次復興計画改訂版P33他 | 本敷地は、大川原地区一団地の復興再生拠点市街地形成施設となりますが、都市計画上で建築する上での制約があれば、ご教示ください。 | 特にありません。 特記仕様書P15. 設計と条件(1)敷地の条件のとおりです。 |
| 48 | 基本構想・基本計画報告書P69 | 防災機能について、地域防災計画が決定していれば、開示願います。 | 学校教育施設の防災機能については、基本構想のP69において想定しています。現行の地域防災計画については、ホームページ上 https://www.town.okuma.fukushima.jp/soshiki/kankyoutaisaku/10962.html に掲載していますので、ご参照ください。 |
| 49 | 実施要領P4(4)業務委託料について | 地質調査の実施時期についてご教示下さい。 | 設計者と協議の上、配置計画等を鑑み地質調査を実施する予定です。実施時期は基本設計時、配置計画が確定した時点をご想定しております。 |